

・ デバイス関連

デバイス関連事業については、国内車載機器メーカー様の中南米工場へのオートハンドラ「PH-M100」の納入に加え、本年2月以降、国内ユーザー様向け及び国内電気メーカー様の東南アジア工場へも同型機の納入を予定しており、国内外での販売が拡大しております。プログラマ関連としましては、産業機器向けにプログラマ本体、及び変換アダプタの販売が堅調に推移した結果、前年同四半期を大幅に上回る売上並びに利益実績となりました。また、ROM書き込みサービスにおいては一部大口の書き込み受注数が減少する中、高品質なクリーンルーム設備内での車載装置向け書き込み、及び産業機器向けの書き込み受注が堅調に推移し、前年同四半期を上回る売上実績となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は536百万円と前年同四半期と比べ46百万円（9.4%）の増収となりました。セグメント利益（営業利益）は83百万円と前年同四半期と比べ36百万円（76.9%）の大幅な増益となりました。

・ タッチパネル関連

タッチパネル関連事業については、タッチパネル分野において交通・公共機関向けなどの情報案内・検索端末機向け大型タッチパネル製品が々々懸案

(2) 財政状態の分析
(資産)

E01977)

(7) 【議決権の状況】

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

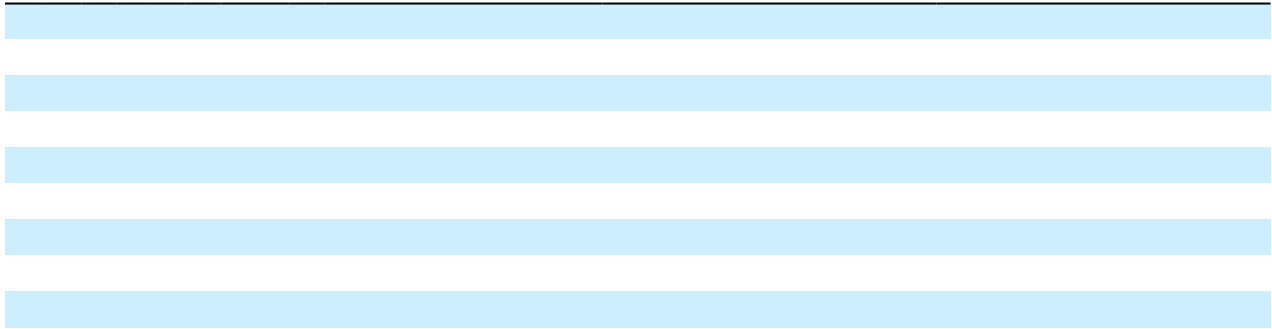
当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

1 E01977)

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】



【注記事項】
(追加情報)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 E01977)

(1株当たり情報)

(重要な後発事象)

(ストック・オプションとしての新株予約権の発行)

当社は、平成29年6月28日開催の定時株主総会において、会社法第236条、第238条及び第239条の規定に基づき、当社及び当社子会社の取締役、監査役並びに従業員に対し、ストック・オプションとして新株予約権を無償で発行すること及びその募集事項の決定を当社取締役会に委任することを決議いたしました。この委任に基づき、平成29

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

